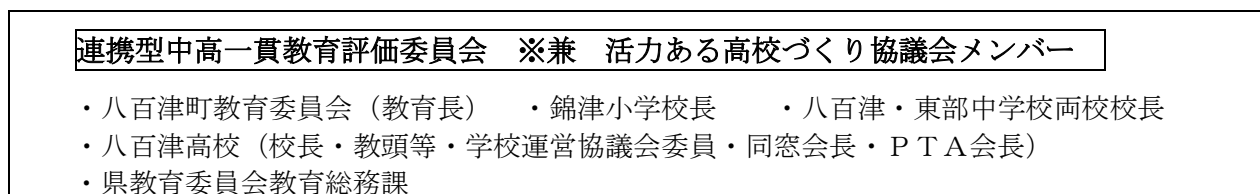
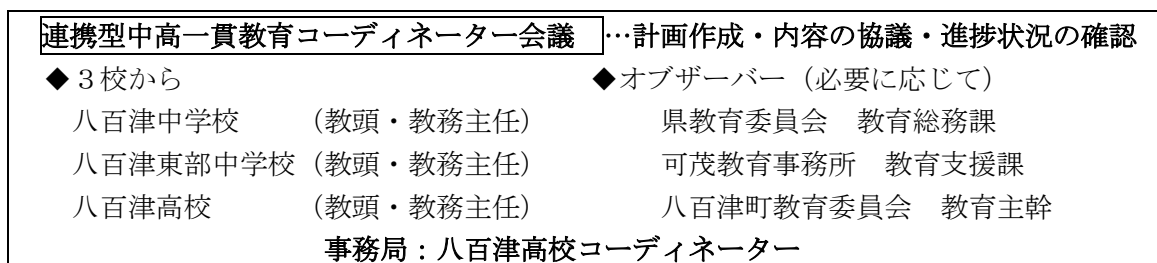
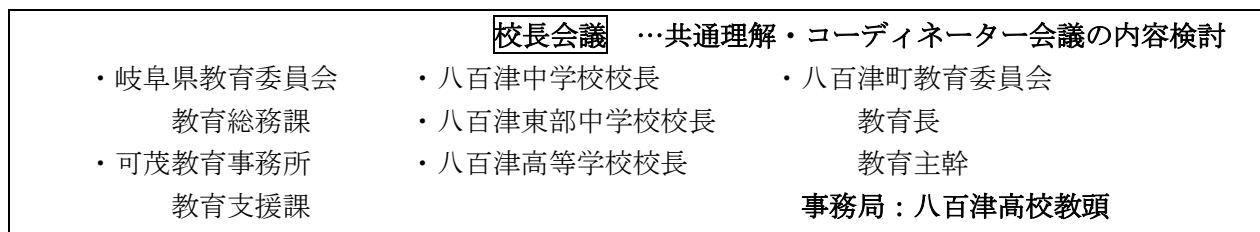


平成30年度 連携型中高一貫教育 推進組織と役割

<可茂地区>

1 推進組織

(1) 連携型中高一貫教育推進組織



2 関係機関の役割

| 関係機関 | 役割 |
|-------------------------|--|
| 八百津町 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 連携型中高一貫教育の指導・助言 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携教育目標の設定の指導・助言 ・ 目標達成のための連携教育活動の指導・助言 ・ 関係会議に係る事務の指導・助言 ・ 岐阜県教育委員会、中学校、高等学校との連絡調整 ・ 地域への広報 |
| 八百津中学校 ・ 八百津東部中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 連携型中高一貫教育のさらなる推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携教育目標の設定 ・ 目標達成のための連携教育活動の創造 ・ 連携教育活動の計画と実施 ・ 連携教育活動の評価 ・ 連携教育の広報 |
| 八百津高等学校 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 連携型中高一貫教育のコーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携教育目標の設定 ・ 目標達成のための連携教育活動の創造 ・ 関係会議に係る事務 ・ 連携教育活動の計画と実施 ・ 連携教育活動の評価 ・ 連携教育の広報 ・ 連携入試の計画、中学校との調整、実施 ・ 県での発表、県への報告、連絡 |

平成30年度 連携型中高一貫教育実施計画

〈可茂地区〉八百津中学校・八百津東部中学校・八百津高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」～こつこつと学習に取り組み、まじめに生活を送る態度を育てる～

1. さらなる連携の推進 2. 確かな学力をつける 3. 生きる力を育む

(2) 連携型中高一貫教育の平成30年度の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める。
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

2 目標達成に向けた具体的な取組

| 目標 | 取組 | 取組の概要 | 連携機関名 |
|--------|---------------|---|-----------------------|
| さらなる連携 | キャリア教育の推進 | ・自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てるため、小中学校から自己理解を深め、望ましい勤労観・職業観を育成する。3年目を迎えるデュアルシステム「企業実習」を踏まえ自らの意思と責任で進路選択する意欲と態度を身に付けさせる。 | 教育委員会 小中学校 高等学校 |
| | 危機管理の推進 | ・引き続き「人道の町やおつ児童生徒会サミット」において、いじめ根絶に向けて小・中・高校生が討論する。 ・ネットいじめ等の今日的な問題について小・中・高が連携して取り組む。 | 教育委員会 小中学校 高等学校 |
| | 連携型入試の取組推進 | ・チャレンジテストの継続と内容を充実させる。 ・八百津東部中学校3年生、八百津中学校2年生の体験入学を充実させる。八百津高校の学習、生活、部活動についての理解を深め、進路選択の参考になるようにする。 | 中学校 高等学校 |
| | 相互理解の推進 | ・全職員が、互いに学校を訪問し、授業を参観する等、中高連携、連携型入試について、さらに理解を深める。 ・部活動等において、相互に学び合える活動を工夫する。中学校にはないカヌー部・ボート部を紹介する機会を作る。 | 中学校 高等学校 |
| 確かな学力 | 交流授業の充実 | ・学力向上をねらい、中学校職員が高校で、高校職員が中学校で指導することで、中学校のきめ細かさ、高校の寄り添い姿勢を学ぶ。 ・指導の体制はTTとし、授業の事前打ち合わせにおいて、1人1人の能力を把握する。それぞれのつまずきを予想し、対応する手立てを中高の立場で検討し、T1・T2の役割の明確化にし、指導の充実を図る。 ・東部中学校においては、昨年度以上に双方への出前授業を発展させる。 | 中学校 高等学校 |
| | 6年間を見通した指導の充実 | ・常にTTの授業を検証する。各教科の指導における中高の系統性を話題にし、それぞれ教科部会等で確認し、日常に還元する。 ・合同教科部会を実施し、つまずきの中高の系統性を議論する。 | 中学校 高等学校 |
| | チャレンジテストの充実 | ・中学校のチャレンジテスト（英語・数学）の取組を充実させる。問題や取組方法を見直し、基礎・基本が身につく取組とする。 ・2中学校のPTA総会にて、チャレンジテストについての説明を行う。 | 中学校 高等学校 |

| | | | |
|------------------|------------------|---|------------------------------|
| 生 き る 力 | 地域や異校種間 連携の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・町産業文化祭でのボランティア活動、八百津高校主催の「町クリーン大作戦」などを小中高校生で継続し、地域に貢献する充実感を実感させるとともに、町民と触れ合う中で地域から学び地域に貢献する態度を育てる。 ・保育園、小学校、中学校、高校まで、異校種間の交流活動を充実させ、互いを大切にする心を学ばせる。 | 教育委員会 保育園 小中学校 高等学校 |
| | 人道教育の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のように、中学校・高校ともに人道(人権)教育を推進し豊かな心を育む。礼儀を大切にし、挨拶のできる生徒を育て、八百津町のどこでも明るい挨拶が響くようにする。 ・杉原千畝氏の功績を小中高ともに学び、人権感覚を磨く。 | 教育委員会 保育園 小中学校 高等学校 |

平成30年度 連携型中高一貫教育に関する事業計画書

(八百津) 高校

| | 連携活動 | 内 容 |
|---|---|--|
| 1 | <p>会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会議 ・ 中高連携コーディネーター会議 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 校長会議(県教委教育総務課、可茂事務所教育支援課、町教委教育長・主幹、3校長・八百津高校担当者)〈4/12〉 ◇ コーディネーター会議(高校校長と担当者、3教頭・教務主任、町教委主幹)〈①4/19、②7/4、③2/7〉 |
| 2 | <p>授業交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兼務発令教員により、中学校教師が高校で、高校教師が中学校で授業を行うことでお互いの指導について理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 八百津高校職員(数学・英語・国語)⇒八百津中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週1回4時間、指導体制：TT ◇ 八百津中学校職員⇒八百津高校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週1回2時間×2人、指導体制：TT(数学) ・ 毎週1回3時間×1人、指導体制：TT(国語) ◇ 八百津高校職員(社会・数学・面接指導など)⇒八百津東部中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学期ごとに1回程度(出前授業) ◇ 中高連携学力養成セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年希望者で学習会〈8/1～8/3〉 |
| 3 | <p>小中高合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携型中高一貫教育の取組について高校の取組を紹介し、八百津町内の学校教職員へ共通理解を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 八百津高校のよさを小中学校の職員に紹介〈4月末の町教研総会にて〉 ※八百津町に初めて赴任した職員への伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着と学力の伸長 ・ コミュニケーション能力と自己表現力の育成 ・ 社会で通用するマナー |
| 4 | <p>連携型選抜関連の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2中学校の生徒の基礎学力の定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ チャレンジテストの継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携型選抜の内容等について明らかになった段階で、中高一貫教育の取組にも活かしていく。 ・ 中学校のPTA総会においてチャレンジテストについて話すことで、その重要性を説明する。 |
| 5 | <p>高校体験入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校の模擬授業を体験し高校進学へ向けての見通しをもたせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 八百津中学校2年生〈6/4 午後〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業体験 ・ チャレンジファイルの点検など ・ 部活動見学 ◇ 八百津東部中学校3年生〈6/20 午後〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業体験 ・ チャレンジファイルの点検など ・ 部活動見学 |